

12月教育委員会会議会議録

日時：令和2年12月17日 午後2時

場所：山口県教育庁教育委員会室

<p>教 育 長</p>	<p>それでは、ただいまより令和2年12月の教育委員会会議を開催いたします。</p> <p>なお、佐野委員は所用のため欠席されていますので報告いたします。最初に本日の署名委員の指名を行います。</p> <p>小崎委員と和泉委員、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、議案に入ります。</p> <p>それでは、議案第1号について、高校教育課から説明をお願いします。</p>
<p>高校教育課長</p>	<p>議案第1号「『県立高校再編整備計画 令和3年度～令和6年度（2021年度～2024年度）実施計画』」の策定について」御説明します。資料は2ページから12ページまでとなっております。</p> <p>本実施計画につきましては、これまでも、素案についてのパブリック・コメントや県内3会場で開催しました地域説明会の状況をお示しし、御協議いただいていたところですが、その後も、11月定例県議会の文教警察委員会において御説明するなど、御意見をお聴きしながら検討を進めてまいりましたが、本日は、本実施計画について、計画（案）のまま計画として策定することを、お諮りするものであります。</p> <p>改めて概要を御説明しますので、4ページを御覧ください。</p> <p>「1 再編整備」についてですが、今後の入学者数の見込みを踏まえ、岩国高校広瀬分校と防府高校佐波分校、山口高校徳佐分校の生徒募集の停止を検討するとしております。</p> <p>次に「2 計画の進め方」ですが、計画の推進にあたっては、小・中・高等学校の保護者など関係者の意見もお聴きしながら、実施時期等について検討し、各年度の実施分については、原則として当該年度の募集定員の発表前に公表することとしております。</p> <p>説明は以上でございます。御審議をお願いいたします。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>ただいま高校教育課から議案第1号について説明がありましたが、御意見、御質問はありますか。</p> <p>これまでも県庁でお諮りしてきたところでございます。パブリック・コメントをし、そして委員会でも御説明させていただいた流れの中で、今回の御提案ということでございます。パブリック・コメント等で頂いた御意見は、出来るだけ対応できるよう努める、ということですので宜しいですね。</p>
<p>高校教育課長</p>	<p>一例として資料10ページを御覧ください。パブリック・コメントの意見の中で、「通学費用の補助や通学方法の確保等の施策についても検討していただきたい」と頂いております。これにつきましては、</p>

小 崎 委 員	<p>表右側の県の考えとして、「県としても通学費用の軽減について検討を進めています」と示し、御意見に対応していこうと考えております。</p> <p>廃校になるのは仕方ないかな、という面もあるんですけど、このパブリック・コメントを読ませていただいた時、資料12ページ真ん中のその他の御意見で、「統廃合で廃校になった校舎の活用方法」というのがあるのですが、やはりそういうところも大事だなと思います。その上の「在校生や卒業生、地域住民の心情にも配慮してほしい」というのも、廃校になった後、校舎がどういうふうに使われていくか。地域住民や子どもたちが集まれるような場所を作るといふか、地域が衰退していかないような、活性化されるような方法を一緒に考えていければいいと思います。例えば、どういうふう到校舎を使うかというのを実際に生徒たちに考えてもらうとか、自分たちが卒業したら校舎がなくなってしまうかもしれないけど、卒業後の校舎をどうやって使っていけばいいのか、子どもたちの意見を聞くのもひとつの手だと思います。立地条件とか、地域がどうなっているとか、私もよく分からないですけど、一都市の周りには何かやりたい若者とか、価値を上げたいと考える地域の方々がいると思うし、地域おこし協力隊の方もいらっしゃると思いますよ。そういった方たちの力を借りて、校舎をより活性化できるような案も出てくれば良いなと思います。</p>
高校教育課長	<p>校舎の活用については、これまでも地元の意見を聞く場があったのですが、生徒から意見を聞くということも考えていきたいと思っております。</p>
和 泉 委 員	<p>これだけ子どもの数が減ってくると、学校の再編も仕方なくなってくるかなと感じます。その中で、先ほどのパブリック・コメントで「通学費用等の負担軽減」の話がありましたが、是非検討いただければと思いますし、資料を拝見しますと、5ページ、ほぼ毎年のように統廃合を繰り返していて、こういった以前の子どもたちの中にもかなり通学に苦労している人がいるだろうと思っております。出来る限り公平な形で通学費、あるいは通学方法等で通いやすい制度になると思いますので、なるべく検討していただきたいと思っております。</p> <p>そして資料10ページ真ん中の御意見ですが、島根県の隠岐の島や津和野などの全国から子どもを募集して成功している例ですが、山口県の中学生って、結局、条件や受験勉強で隣県に進学していく子もかなりいると思うのですが、具体的にどれだけの山口県の中学生が隣県の学校へ進学するのか、あるいは逆に他県から山口県内の学校に進学する例はあるのか、その分析はされているでしょうか。</p>
高校教育課長	<p>中学校から高校の段階で約300人が県外の学校へ進学されます。もちろんその逆もありますが、社会構造で見ますとだんだん少なくなっています。小学校から中学校の段階で県外へ行く例もあります。いずれにしても、県外流出は山口県の大きな課題だと認識しております。</p>

和 泉 委 員	是非、今後の学校づくりに活かしてもらえたらと思います。
教 育 長	<p>勉強はもちろん、部活動などいろんな理由で流出が発生していますが、他県から山口県に、という例もありますね。</p> <p>先ほども申しましたとおり、県教委において説明をしてみましたので、もう大体御意見はいただいたかと思います。</p> <p>議案第1号について、承認することとしてよろしいですか。</p>
全 委 員	承認
教 育 長	それでは、議案第1号を承認いたします。
教 育 長	<p>続いて、報告事項に入ります。</p> <p>報告事項1について、教職員課から説明をお願いします。</p>
教 職 員 課 長	<p>お手元の資料13ページを御覧ください。報告事項1「令和3年度山口県立学校職員採用候補者選考試験の選考結果について」、御報告します。</p> <p>はじめに試験の概要についてです。14ページの《参考》を御覧ください。実習助手及び寄宿舍指導員について、1の表に示した選考区分、志願区分、採用見込者数と5に示した試験の内容により、10月25日（日）に山口県セミナーパークで試験を実施しました。6にお示ししたとおり、11月27日（金）に採用候補者名簿登載予定者を発表し、受験者全員に選考結果を通知したところです。</p> <p>それでは13ページにお戻りください。選考結果の概要ですが、実習助手については表の志願者数の合計欄に示したとおり、57人の志願があり、欠席者を除いた50人が受験し、選考の結果、9人を採用候補者名簿登載予定者としたところであり、倍率は5.6倍となりました。</p> <p>寄宿舍指導員については、11人の志願があり、9人が受験し、選考の結果、1人を採用候補者名簿登載予定者としたところであり、倍率は9.0倍となりました。</p> <p>なお、例年実施している新規採用予定者研修会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止することとしています。</p> <p>以上、御報告します。</p>
教 育 長	ただいま教職員課から報告事項1について説明がありましたが、御意見、御質問はありますか。
宮 部 委 員	工業に機械系、電気系、化学工業系とあり、募集は5人程度となっていますが、実際は当初予定者数よりプラスマイナスが随分あると思います。化学系なんかは受験者1人ということですが、いろいろと問題が出ているという理解でよろしいでしょうか。

教職員課長	<p>今、お話がありました通り、資料14ページにお示ししております採用見込者数につきましては、退職者数の状況から決めておりますが、実際の選考試験を行った結果、求めている水準に達していない場合に、合格者が出なかったということになります。</p>
教 育 長	<p>それでは、報告事項1については、以上のおおりとします。 続いて報告事項2について、高校教育課から説明をお願いします。</p>
高校教育課長	<p>報告事項2「令和3年3月新規高等学校等卒業予定者の就職内定状況等について」御報告いたします。資料15ページを御覧ください。</p> <p>1番の表は、山口労働局発表の10月末日現在の新規高卒予定者の求人状況等であります。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、高校生の就職スケジュールが1か月後ろ倒しとなったため、対前年同期比に加えて、令和元年度の選考開始月である9月末比を併記しております。前年との比較につきましては、網掛けでお示しています。</p> <p>Aの求人数は5,363人に対して、Bの就職希望者数の合計は2,848人であり、この結果、Cの求人倍率は1.88倍となっております。求人倍率は0.32ポイントと大きく減少しておりますが、過去10年を見ると、3番目に高い数値となっております。次に、Dの就職内定者数の合計は2,266人となり、Eの就職内定率合計は79.6%となり前年度比2.3ポイントの増加、Fの欄上段の県内就職内定比率は81.6%となり0.2ポイントの増加となっております。</p> <p>次に、16ページを御覧ください。「2 新規高卒予定者への支援」についてです。新たな取組として、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響がありましたので、より広域でのマッチングを視野に入れるため、これまで県内7地区で行っていた情報交換会を3地域に広げるよう変更し、7月以降、基本的に毎月実施しております。「県内企業就職説明会」については、6月は全て中止としましたが、代わりに企業による会社説明動画を学校へ配信しました。また、未内定者への支援として、10月に1会場での開催を予定していましたが、それを11月に県内3会場に拡充して実施したところです。「(2) 今後の取組について」ですが、お示ししている支援に全力で取り組み、就職希望者全員の内定に努めるとともに、次年度に向けて早い段階からの就職支援に取り組んでまいります。</p> <p>次に、3の「県立特別支援学校における支援について」です。</p> <p>(1)の表に10月末日現在の内定状況等をお示ししております。就職希望者73人中、内定者は15人となっております。(2)にお示ししているように、今後とも「新たな現場実習先の開拓」と「現場実習の充実」、更にハローワークなど、「関係機関との連携」による就職支援にしっかりと取り組んでまいります。</p>
教 育 長	<p>ただいま高校教育課から報告事項2について説明がありましたが、御意見、御質問はありますか。</p>

穎原委員	16ページの2番、県内企業就職説明会を11月に3回実施されたということで、参加者数などそういった状況が分かれば教えていただきたい。
教育長	3地域の説明会への参加者数等です。
高校教育課長	すみません、手許に数字がありません。また後程、説明します。
教育長	例年より1か月遅れの開始ということで、学校もいろいろと大変だったと思いますけど、関係機関とともに希望がかなえられるよう、いろいろと配慮はしていけたらと思います。
和泉委員	今年はコロナで、高校生の就活に関してもなかなか難しかったと思いますが、企業によっては遠隔で面接をやるところもあって、それについての高校側からの支援は何かあるのでしょうか。
高校教育課長	高校生との面接についてもオンラインで行うケースがありました。ただ、学校によって場所をどこにするかとか、通信速度だとか、いろいろと急な対応でしたので、苦労したところもありましたけど、国から各企業に対して、例えば通信が途中で止まることがあっても、しっかりと配慮する旨の通知が出ましたので、学校側からの不具合の報告は今のところありません。リモート面接で内定確定という報告も受けております。
宮部委員	コロナの影響で求人も減っていながら1.88倍ということで、我々からすれば非常に良い状況という感じはあるんですが、全体の1.04倍とはかなり違います。現実にも通りの80%台の内定ということで。これ、専門科の問題とか、ミスマッチでこのような状況になっているんですかね。私の住む岩国の企業にお話を伺うと、「高校からは採用しない」としているところが結構あるようです。それでも1.88倍だったということは、専門を決めた場合にそうなるのかという認識があります。この時期、2段階目くらいにいろいろと考えが変わって、落ちつくと思うんです。時期がそうなんでしょうかね。
高校教育課長	就職する生徒の多い学校の校長から何度か聞き取りをしていますが、やはり本年度、数字は確かに下がっているものの、それでも高校生が欲しい企業が求人を出しているということで、こちら側から手を上げたときには、かなり採用してもらっているようです。今、お話にもあった2回目の採用結果が出てくるところもたくさんあって、その時に自分の希望でない企業への採用が多くなるかもしれませんが、1回目の段階ではそのようなことは少なかったように感じております。
宮部委員	よく言われるのが「地元、地元」と言われながら学校に反対される。広島県から山口県に。要求する人間がとれたが、残念ながら地元の高校生が採用できなかったこともある。それがミスマッチに繋がる

	<p>と思うのですが、上手いこといけば、地元の高校生も採用できるということでございます。</p>
教 育 長	<p>それでは、報告事項2については、以上のとおりとします。          続いて報告事項3について、社会教育・文化財課から説明をお願いします。</p>
社会教育・文化財課長	<p>それでは、報告事項3「山口県文化財専門員の選考採用試験の結果について」御報告いたします。資料の17ページをお開きください。          文化財専門員の選考採用試験の実施につきましては、7月の教育委員会会議において御報告したところですが、1の選考日程にありますように、受験者の募集を7月下旬から8月末にかけて行ったところ、全国から8名の方の応募がありました。その8名の方について9月上旬に書類選考による第1次選考を行い、5名を合格としたところです。その後、その5名の合格者について、10月11日に面接試験及び適性検査による第2次選考を行い、最終合格者2名を決定し、先日、受験者に結果を通知したところです。          以上、御報告いたします。</p>
教 育 長	<p>ただいま社会教育・文化財課から報告事項3について説明がありましたが、御意見、御質問はありますか。          文化財専門員の採用試験に関することについてですが、2名ほど最終合格になったということで、いかがでしょうか。</p>
教 育 長	<p>それでは、報告事項3については、以上のとおりとします。          次に、次回の教育委員会会議の日程について、教育政策課から説明をお願いします。</p>
教育政策課長	<p>次回の教育委員会会議は、令和3年1月14日（木）午後2時を予定しております。よろしく申し上げます。</p>
教 育 長	<p>以上で12月の教育委員会会議を終わります。</p>
閉 会	<p>午後2時26分</p>